



自動車のナンバープレートの話

自動車には、ナンバープレートを見易いように表示することが法律で義務付けられています。

今回はそのナンバープレートにまつわる話をご紹介します。



〔れ〕が表示されたナンバープレート

○**沖縄のレンタカーのナンバープレートが「わ」から「れ」へ**

レンタカーのナンバープレートに使用されている仮名文字が「わ」であることは広く知られていることだと思いますが、本年2月5日に沖縄総合事務局陸運事務所において、「れ」の平仮名文字が表示されたナンバープレートが交付されました。

全国でも「れ」のナンバープレートの交付は北海道に続き沖縄が2番目となります。

○**ナンバープレートに表示されている文字等について**

自動車のナンバープレートに表示されている文字や数字、色は道路運送車両法という法律で、自動車の用途等の区分や使用の本拠の位置等により決められています。

同法は、これまで法律改正等が重ねられてきて、ユーザーの好きな数字が選べる希望番号制度の創設や地域の要望を踏まえ地域名を定める、いわゆる「ご当地ナンバー」が全国29地域（予定含む）で導入が進められています。

○自動車登録番号（ナンバープレート）に表示される項目

①地域名

「富士山」等は「ご当地ナンバー」

②分類番号

普通、小型、特種等の種別を示しています。

③平仮名文字等

事業用、自家用等の用途を示しており、レンタカーは「わ」と「れ」になっています。

④一連指定番号

一番大きく表示されている4桁までの数字で、原則として

①→**沖縄** 500 ←②
③→**れ** ×××× ←④

「1」から昇順で新規登録等の際に定められます。ただし、手続きにより希望する番号にすることも出来ます。

実はナンバープレートに表示されない文字や数字もあります。

いきさつは定かではありませんが、平仮名文字の「し」や「へ」という文字は使用されず、また、下2桁が「42」「49」という組み合わせの数字についても、希望番号とする場合を除き、使用されないこととなっています。

○**ナンバープレートの多様な活用への取り組み**

そして現在、ナンバープレートを活用することにより、自動車の魅力の更なる向上や地域振興・観光振興



写真は見本（一般財団法人沖縄県自動車標板協会提供）



図柄入りナンバープレート（イメージ）



琉球政府時代のナンバープレート
（一般財団法人沖縄県自動車標板協会提供）

を推進するため、「図柄入りナンバープレート」の導入に向けて法改正等の準備が進められています。

また、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、特別仕様デザインのナンバープレートの交付についても検討が進められているところです。

当初は自動車の特定・把握により、犯罪防止等が目的であった自動車ナンバープレートは、現在では様々な活用が求められるようになってきています。

諸外国ではナンバープレートに図柄等を挿入することによって、地域振興や観光振興などの様々な目的への活用が行われています。

○デザイン入りナンバープレート
（オーストラリア）



○寄付金付きナンバープレート
（ニューヨーク州：公園パスポート購入者に対して交付され、州の観光振興のための事業に充てる寄付金付き）



○オリンピック特別仕様ナンバープレート



（2000年シドニーオリンピック特別プレートの例）



2010年バンクーバー五輪
（カナダ：ブリティッシュコロンビア州発行）



1996年アトランタ五輪
（アメリカ：ジョージア州発行）